


2019(令和元)年度 福岡県立大学 公開講座 I

不登校・ひきこもりサポートセンター

「こどものひきこもり 大人のひきこもり」

(全3回)

# 報告

 福岡県立大学 不登校・ひきこもりサポートセンター

令和元年度 福岡県立大学 公開講座 I

## こどものひきこもり 大人のひきこもり

時間 14:00~16:00  
(13:30~受付)

場所 福岡県立大学附属研究所  
大セミナー室

### 第1回目 10月1日(火)

「福岡県のひきこもりの現状」

講師：岡島祐子

(福岡県ひきこもり地域支援センター/福岡県精神保健福祉センター相談指導課長)

座長：本郷秀和

(不登校・ひきこもりサポートセンター長/人間社会学部教授)

### 第2回目 11月6日(水)

「ひきこもりへの思い~家族として、支援者として伝えたいこと~」

講師：ひきこもり家族会「たんぽぽの会」代表

北九州市ひきこもり地域支援センター「すてっぷ」スタッフ

座長：小嶋秀幹

(不登校・ひきこもりサポートセンター幹事教員/人間社会学部教授)

### 第3回目 12月5日(木)

「不登校・ひきこもりサポートセンター~追跡調査結果~」

講師：原田直樹

(不登校・ひきこもりサポートセンター教員スタッフ/看護学部准教授)

対象：不登校・ひきこもりについて関心のある方  
学校関係者、保健医療福祉、医療関係者  
※原則として、全3回の講座に参加が可能な方

定員：なし

申込：所属、氏名、連絡先、参加日程を明記の上、裏面の  
申込書でFAXいただくか、Eメールにてお申し込み  
ください。

締切：令和元年9月27日(金)

資料代：2000円(田川市勤務および在任の方は1000円)

問い合わせ先

〒825-8585 福岡県田川市伊田4395

福岡県立大学 不登校・ひきこもりサポートセンター

TEL:0947-42-1343 FAX:0947-42-1364

MAIL:support@fukuoka-pu.ac.jp

担当：岡本・大場

後援：福岡県、福岡市、北九州市、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、北九州市教育委員会

## 第 1 回

日 時:令和元年 10 月 1 日(火) 14:00~16:00

場 所:本学附属研究所 大セミナー室

講 師:岡島祐子氏(福岡県精神保健福祉センター相談支援課長)

座 長:本郷秀和(不登校・ひきこもりサポートセンター長/本学人間社会学部教授)

テーマ:福岡県のひきこもりの現状

参加者:38 名(うち田川市在住・在勤者 6 名)

**講座概要:**講座は 2 部構成で展開された。前半は、冒頭で我が国のひきこもり施策に始まり、福岡県地域支援センターについて県内の他のセンターの紹介とともに、組織と相談体制、センターの役割について紹介がなされた。現況の報告では、相談件数の増加の状況、相談者としては家族が 7 割を占めること、ひきこもり本人の男女比では男性が 7 割であること、年代では 20 代が 30%・30 代が 24%であること、ひきこもり期間は 1~3 年が 21%、また 10 年以上が 27%に上るなど近年の状況が報告された。後半は、具体的な支援について紹介され、さまざまな家族や本人へのアプローチ、さらには支援者への支援について報告された。質疑応答では「ひきこもり」の言葉のマイナスイメージやその言葉の由来やその言葉に変わる言葉はないのかという議論も行われた。終始「聴くことの大切さ」と「言葉かけの際の『言葉』の選択」そして「理解の必要性」など多くのメッセージが心に届く講座であった。

**講座風景:**



## 第2回

日時:令和元年11月6日(水)14:00~16:00

場所:本学附属研究所 大セミナー室

講師:ひきこもり家族の会「たんぽぽ」代表・母親A氏、ひきこもり経験者B氏

北九州市ひきこもり地域支援センター「すてっぷ」スタッフ下川裕司氏

座長:小嶋秀幹(不登校・ひきこもりサポートセンター幹事教員/本学人間社会学部教授)

テーマ:ひきこもりへの思い～家族として、支援者として伝えたいこと～

参加者:47名(うち田川市在住・在勤者6名)

**講座概要:**当初の予定では、ひきこもり家族の会「たんぽぽ」代表の親御さんと、北九州市ひきこもり地域支援センター「すてっぷ」スタッフの下川氏による「ひきこもりへの思い～家族として、支援者として伝えたいこと～」を予定していたが、ひきこもり当事者の方の参加が叶い、3名による講演、その後参加者との意見交換を行った。今回の講座の冒頭では、家族会代表の親御さんA氏から、お子さんが高校生時代に引きこもりを経験し、その際の親としての思いと学校の対応についてお話しいただいた。当事者のB氏からは、ひきこもりのきっかけや理由、そして支援者への思いについてお話しいただいた。最後に支援する側の思いとして、北九州市ひきこもり支援センターの下川氏より、センターの組織・支援体制や取り組みの実情をお話しいただいた。質疑応答では、3者に対してそれぞれ質問が寄せられ、質問一つ一つ丁寧に回答をいただいた。第2回も「言葉」が一つのキーワードともなり、親として支援者や周りから言ってほしくない言葉として、「子育てが悪い」や否定的な言葉や雰囲気、話したくない気持ちになるなどの回答があった。そして、嬉しい言葉としてA氏からは「大丈夫ですよ」「親は親の人生」、また聞いてもらえる人がいることがありがたいこと、また当事者のB氏からは「ここにいていいから」「無理しなくていい」という言葉が印象に残っているとの回答であった。

### 講座風景:



写真は北九州市ひきこもり地域支援センター下川氏

### 第 3 回

日 時:令和元年 12 月 5 日(木) 14:00~16:00

場 所:本学附属研究所 大セミナー室

講 師:原田直樹(不登校・ひきこもりサポートセンター教員スタッフ/本学看護学部准教授)

テーマ:「不登校・ひきこもりサポートセンター～追跡調査から見たもの～」

参加者:46 名(うち田川市在住・在勤者 9 名)

**講座概要:**本センターの 11 年前の開設当時からのスタッフである原田准教授より「不登校・ひきこもりサポートセンター～追跡調査から見たもの～」と題して報告がなされた。冒頭では、全国の不登校の概況からことばの定義、そして福岡県内の不登校の状況が報告された。次に、本センターの状況として、支援の流れ、相談件数の推移、相談種別、県大こどもサポーター活動実績の紹介がされた。次に、平成 30 年に実施した追跡調査の報告がされた。保護者 246 名、子ども 115 名への調査票の回収状況から、宛名不明による不達の多さも居住の不安定さが見えていること。また、不登校の要因にみる意識に保護者と子どもには差があること、支援ニーズにおいても保護者と子どもには意識の差があることが報告された。後半では、不登校と家族の機能、保護者のうつ状態、子どもの環境への適応感が子どもの不登校との関連がある可能性について報告された。さらに子どもへの調査から学校に行けなかった時の思いについて、当時の気持ちや、今どう思うのか、あればよかった支援など子どもたちの生の声の紹介がなされた。質疑応答では、家族機能に関すること、報告の具体例、また支援上の悩みの解決法について質問が寄せられ、ひとつひとつ丁寧に回答いただき、支援上の悩みについては本センターでの相談を受け付けていることなどが紹介され、本センターにつながることも支援の第一歩であり、抱え込まないためにも活用してほしいとの言葉で締められた。

**講座風景:**



(文責:不登校・ひきこもりサポートセンター教員スタッフ 公開講座担当 増満 誠)

# 福岡県立大学公開講座Ⅰ（第1回）アンケート結果

2019/10/1 実施

## 1. この公開講座を知ったきっかけ（複数回答）

- ①新聞（0人） ②市（町）政だより（0人） ③ポスター（0人） ④チラシ（3人）
- ⑤大学のホームページ（0人） ⑥知人の紹介（0人） ⑦職場での案内（29人）
- ⑧そのほか（3人：2019年3月の不登校ひきこもり支援フォーラムが良かったから、県立大学からの案内）

## 2. 受講講座についての印象

- ①大変満足（5人） ②おおむね満足（16人） ③普通（7人） ④やや不満（1人）
- ⑤不満足（0人）

## 3. 講座の日程

- ①このままでよい（29人） ②わからない（1人） ③改善して欲しい（1人）

## 4. 今後の参加希望

- ①はい（26人） ②わからない（4人） ③いいえ（0人）

## 5. 今回の公開講座についての意見・感想

- ◇とても充実した内容でメモすることがたくさんありました。職場（教育委員会）に持ち帰り情報共有したいと思います。
- ◇本日は貴重なお話をありがとうございました。ひきこもり支援センターがどのような機関・支援内容・役割があるかわかり、勉強になりました。養護教諭としてこのような施設に繋げるために知っておくことは大切だと思いました。具体的な事例をもとに施設がどんな計画・支援・評価したか知れると良かったかなと思います。
- ◇ひきこもりの方への対応、言葉かけについて理解できました。今後の支援につなげられたらと思います。
- ◇詳しく学ぶことができたのでとてもよい講義でした。ありがとうございました。
- ◇駐車場を確保してほしい。聞きたいことがあまり聞けなかった
- ◇「ひきこもりは状態であって病気ではない」「フリースペースの活用」「やめるべき言葉かけ」「やめなくてもよい言葉かけ」など、とても勉強になりました。教育の場、家庭などで実践していきます！
- ◇県立大学だけでなく福岡市近郊で開催されたら受講しやすいです。
- ◇発達障害の特徴を持ち、小中と特別支援学校で教育を受けていたが、知的に境界より有意なために公立中学に転校、全日制高校進学したが、パニックにより自死を求め、危険回避のために措置入院。その後現在は一時自宅療養状態にあるが、これは学校、保護者も連携による、ひきこもり状態を環境として整備している。本人は医療及び福祉サービスを拒否しており、長期自宅療養の可能性が強い。これはひきこもりという環境の中から、社会性の向上をめざすポジティブひきこもりをめざしていきたい。
- ◇ギリギリまで授業をして急いで来たら、遠くの駐車場にまわされた。停めれないのであれば、事前に連絡（FAXや職場へのメール等）があってもいいのでは…。マイクにエコーがかかりすぎて、聞き取り難かった。時間内で終わるように、しっかりコントロールするべき。→質疑応答を要求した男性の方、自身の言い分が終わったらさっさと退室するなどありえない。主催者側は毅然とした態度で予定通り進行するべき。

- ◇1回目の基礎的な話としてはちょうどよかった。2回目の当事者の方のお話が楽しみです。質疑応答の時間がたくさんあり、とてもよかったです。
- ◇一般的な話に終始しており、もっと具体的な事例などの話や、復帰した事例などを聞きたかった。
- ◇定時制の高校の教員です。様々なひきこもりのタイプがあることを知りました。個人的な経験のみで対応するのではなく、見聞を広めることの重要性がわかりました。子どもたちへの対応に活用したいと思います。
- ◇当事者にとって、ひきこもる＝安全な場所という話を聞かせてもらい、そう考えると外に出ることだけが支援ではなく、本人が何に悩み、どんな思いを抱えてひきこもっているのかを一緒にひもといていくことが支援なのかなと思いました。
- ◇具体例（ひきこもりから脱却事例）
- ◇大変参考になりました。ありがとうございました。
- ◇質問の多さから自分と同じように、現場で困っている支援者や当事者が多いのだと実感しました。本日の質疑応答のように関係機関同士の意見交換や交流の場がもっと身近にあればいいのにと感じました。
- ◇ひきこもりは、細く長く…が印象的でした
- ◇デリケートな内容ではありますが、ひきこもり支援へのより具体的な道すじが見えることを期待しています。
- ◇質疑の時間をしっかり確保していただいたので理解が深まりました。ありがとうございました。

## 6. 今後に向けての要望（テーマなど）

- ◇関係機関の連携のし方
- ◇不登校について事例を持ち寄って実践の交流やその取り組みについてのアドバイスをいただける機会があればありがたいです。
- ◇発達障害についての講座があれば参加したいです。
- ◇ありがとうございました。
- ◇もう少し長時間の研修を受けたい。
- ◇不登校支援のあり方（具体例）
- ◇全て平日なので時間の調整が難しい。

## 7. 勤務先または住まいの地域

- ①田川市内（5人）      ②田川郡内（1人：香春町）
- ③その他（25人：飯塚市；3人、古賀市；2人、福岡市；2人、直方市；2人、北九州市、宗像市、八女市、嘉麻市、久留米市、糟屋郡、須恵町、志免町、篠栗町、福岡地区）

※参加者の方の生の声を大切にするために、匿名性には配慮し一部表現を変更しておりますが、記載されたそのままを掲載させていただいておりますことをご了承ください。

## 福岡県立大学公開講座Ⅰ（第2回）アンケート結果

2019/11/6実施

### 1. この公開講座を知ったきっかけ（複数回答）

- ①新聞（0人） ②市（町）政だより（0人） ③ポスター（0人） ④チラシ（9人）  
⑤大学のホームページ（1人） ⑥知人の紹介（1人） ⑦職場での案内（37人）  
⑧そのほか（0人）

### 2. 今年度の受講状況

- ①1回目に参加した（26人） ②今回が初めて（18人）

### 3. 受講講座についての印象

- ①大変満足（10人） ②おおむね満足（18人） ③普通（12人） ④やや不満（0人）  
⑤不満足（1人）

### 4. 講座の日程

- ①このままでよい（38人） ②わからない（5人） ③改善して欲しい（0人）

### 5. 今後の参加希望

- ①はい（36人） ②わからない（6人） ③いいえ（1人）

### 6. 今回の公開講座についての意見・感想

- ◇当事者の方々から貴重なお話を聞けて、大変勉強させて頂きました。質問紙でまとめて頂いてとても良いなと思いました。
- ◇いろんな立場の方々テーマを通してそれぞれの気持ちを共有できる場所になっていてとても良いなと思いました。会場の学校の先生方、現場の方々今日の講演をどう感じたのかな？と気になりました。不登校だった子供を持つ親として、子供も親もそれぞれが多くの方に助けられて今があるなと恵まれていたことに改めて感謝する時間となりました。ありがとうございました。本当に困っている人たちに必要な助けが届くと良いなと思います。
- ◇貴重なお話、ありがとうございました。様々な立場の方の目線で、お話が聞けて勉強になりました。特に当事者の気持ち、想いが知れて良かったです。今後の職務に生かしていきたいと思えます。
- ◇学校（担任）もどうにかしたいという思いで親や当事者と関わろうとしているが、親とうまくつながらないことが多い。同じ思いなのに…。現場も悩み苦しんでいることをわかってもらえたらありがたいです。
- ◇それぞれの立場の視点で話を伺えて良かったです。利益追求の社会が世の中に失敗させない社会を作り出しているのだと感じました。本日のような場が必要であって、対立軸では解決しないのだと思います。
- ◇成功体験他、失敗体験もたくさん聞きたかったです。
- ◇当事者や親の気持ちを聞くことが出来て、学校の関わり方など多くのことを学ぶことが出来ました。ありがとうございました。
- ◇今後に活かせるような話が少なかった気がします。
- ◇「ひきこもり」本人、スタッフ、家族の話で終わらず、それを意味づけつないでいく話を聞きたかった。また、司会者へ期待したが…。
- ◇声が聞きとりにくいところがあったので、次回からは一番前の席に座ります。

- ◇勤務先で不登校の生徒がいるため、そのような子にどうアプローチしていくか、また保護者に対して、どう声かけをしていけばよいかなど、聞きたくて受講を決めました。今回、当事者や家族の方のお話が聞いて良かったです。
- ◇この講座で「何かを得たい!」「何かを持って通ってもらいたい」というのがよくわかりました。が、不登校、ひきこもりの問題は解決策等の理論があるわけではないので、難しいやりとりだなあーと思いました。
- ◇当事者の方は話をすることに慣れていないので、話を順序よく、わかりやすく伝えてもらえるように座長が質問しながら進めた方がよいと思う。不登校、ひきこもりの方への支援について参考になることがほとんどなく残念だった。当事者の方も渦中であり、どうしたらよいのかわからない状態での話なので、これということがなかった。
- ◇色々な角度から、ひきこもりについてお話を聞いたことで、良い機会になりました。
- ◇今回お話された方々はきっと緊張されてたことと思います。今日聞かせていただけてよかったです。ありがとうございました。私も「ちゃんと話を聞いてくれる人」になれるように努力したいと思います。
- ◇前回もありましたが、“不登校”になった原因が、学校や教員の対応だったり、暗に批判的な発言があり、とても怒りと残念な気持ちです。言わんとしていることは理解できるが、“不登校”になった時が、小・中・高であり、そこに責任を押し付けられるのは非常に辛いものがあります。“不登校”の生徒を見捨てるわけではありませんが、学校の実情も厳しいものがあり教員も精一杯だと思います。
- ◇とても分かりやすく、流れもよかったですと思います。全体会のあと、グループで活かせたら（3人にも入っていただいて質問したりなど）もっと深まったのかもしれない。
- ◇1回目、支援者として「自分で生活保護の申請に行く」ことを最終目的にするのは、ショックでしたが、だれかにつながって生きていく事が大事だと思いました。2回目、当事者の話から、ていねいな関わり、尊重する関わり方を学びました。
- ◇親、当事者、支援者の違う立場からの話がとてもよかったですと思います。ひとりひとり違うこと、こうすればよい、の正解がないこと、寄りそう姿勢で長期にかかわること、が学べてよかったです。
- ◇ひきこもりの経験者や、現在も向き合っている方とのセッションは、非常に参考になった。表現はどうかと思うが、ゆるさのある
- ◇ひきこもり、不登校の経験者や保護者、専門家の先生のお話を伺うことができ、ひきこもりの状態にある場合の関わりや心理状況などについて知ることができ、大変参考になりました。子どもとしっかり関わりサポートしていこうと思います。
- ◇当事者のキモチなどを聞くことができよかったです。
- ◇ひきこもり支援を考える上で、非常に参考になりました。
- ◇当事者の方や、支援者の方の実体験を聞くことが出来て良かった。
- ◇当事者の声、その親の声の方のお話は大変貴重な内容でした。大変参考になりました。ありがとうございます。
- ◇ひきこもった本人、保護者からの話が聞け、疑問に答えてくれる機会はとても貴重でした。
- ◇座長さんがご家族の方に「息子さんの不登校は何がきっかけですか？」と質問されたが、本質的に不登校やひきこもりについて理解が乏しいのではないかと思います。きっかけや原因探しは意味がなく、自己肯定感をいかにつけてあげるかだと思います。



## 7. 今後に向けての要望（テーマなど）

- ◇アンケートの感想など公開できるもの（部分）があれば、それぞれの立場でのひきこもりに対しての見方を勉強させていただけるかな…と少し思いました。すみません。
- ◇発達に特性をもつ子どもたちの進路保障について（家庭、学校、地域とともに考えるべき問題について）
- ◇今日のような「ライブ」をお願いします。
- ◇ひきこもりの生徒に対して、どのような接し方が望ましいのか、どのように関わっていくべきなのか。
- ◇「私はこれで不登校を解消した」かけてもらった言葉や、居場所等様々なきっかけを具体的に聞きたい。
- ◇地域で支援できるようにするための設置手順や手続きのようなものがあれば知りたいです。
- ◇学校におけるカウンセリング（生徒・保護者とのかかわり方）
- ◇「不登校支援の相談員」として中学校に派遣されていますが、「すてっぴ」に行ったりする方が解決策も見えたりするのかなと思いました。質問と答えがちぐはぐな感じ？
- ◇精神障がい者が増えているように感じます。精神障がい者との関わり方、精神障がい者の高卒後の進路、就労支援について。
- ◇様々なケースを出し合って（匿名で）いろんな立場から意見を出し合えるといいのかなと思いました。
- ◇テーマ…相談する（自分の何かが苦しい、心配等）ことのハードルがなぜ高いのか（はずかしい、伝わらない、自分が行く場所ではない…）やっとの思いで相談したら、説教されたり、私たち（世間）に問題が多々あると思います。もっと相談することが、あたりまえの社会になるためには。
- ◇司会の先生がひきだす能力が素晴らしいので、実践形式でさらに同じような機会をお願いしたいと思います。
- ◇座長さん…コーディネーターとして不十分な気がします。もう少し人の話を引き出すことができる方がよいのでは？
- ◇ひきこもりサポートセンターの見学もしたいです。

## 8. 勤務先または住まいの地域

①田川市内（7人） ②田川郡内（1人：香春町）

③その他（35人：飯塚市；4人、嘉麻市；3人、直方市；3人、飯塚市；2人、福岡市；2人、糟屋郡；2人、宗像市；2人、久留米市；2人、北九州市、志免町、桂川町、京都郡、須恵町、粕屋町、県内、県外）

※参加者の方の生の声を大切にするために、匿名性には配慮し一部表現を変更しておりますが、記載されたそのままを掲載させていただいておりますことをご了承ください。

# 福岡県立大学公開講座Ⅰ（第3回）アンケート結果

2019/12/5 実施

## 1. この公開講座を知ったきっかけ（複数回答）

- ①新聞（0人） ②市（町）政だより（0人） ③ポスター（1人） ④チラシ（4人）
- ⑤大学のホームページ（2人） ⑥知人の紹介（0人） ⑦職場での案内（35人）
- ⑧そのほか（1人；九州思春期研究会にて 九思研でも、次回フォーラムのチラシを頂けたらと思います。）

## 2. 今年度の受講状況

- ①2回とも受講した（19人） ②1回目にのみ参加した（3人）
- ③2回目のみ参加した（3人） ④本年度は今回が初めて（9人）

## 3. 受講講座についての印象

- ①大変満足（17人） ②おおむね満足（14人） ③普通（4人）
- ④やや不満（1人） ⑤不満足（0人）

## 4. 講座の日程

- ①このままでよい（30人） ②わからない（7人） ③改善して欲しい（2人）

## 5. 今後の参加希望

- ①はい（33人） ②わからない（5人） ③いいえ（1人）

## 6. 今回の公開講座についての意見・感想

- ◇時間もかかるのですが、学校のある3年間は少なくとも愛情をもって取り組みたいと思います。
- ◇本日は本当にありがとうございました。
- ◇不登校の一般的経過と登校刺激の事例をもっとうかがいたいと思いました。
- ◇不登校の家族にも知ってほしい内容もあり、大いに参考になりました。
- ◇研究結果を元に話されていたので、分かりやすかった。お忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。
- ◇わかりやすかった
- ◇大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ◇保護者と支援者は分けた方がよい気がしました。公開講座には向かないでしょうか。質問内容を制限しないといけなくなります。個人的にはよくわかった。
- ◇職員研修に是非来ていただきたいです！！どういう手続きをとったらいいですか？
- ◇是非、相談を聞いていただきたい。質問用紙に記入した通り。
- ◇全3回の参加は、諸般の関係でできませんでしたが、勉強させて頂きました。具体的なものが追跡調査から見えて来ていたように思います。
- ◇お世話になりました。大遅刻して大変すみませんでした。不登校経験者の追跡には大変興味を持っていましたので、お伺いできてよかったです。
- ◇実際にどのように関わっていけばいいかを知ることができてよかったです。ありがとうございました。
- ◇統計をもとに具体的な事例を知ることができとてもよかったです
- ◇とてもわかりやすくてよかったです。ありがとうございました。
- ◇家族の機能と不登校の関係が興味深かった。家族機能を調べるアンケート等あればその内容を教えてほしかった

◇せっかく足を運んで県立大に来ているので、講座の前後で、サポートセンターの見学ができればよかったなあ…と思います。イメージもしやすかった気がします。

◇とても勉強になりました。

◇ありません

◇1回目、2回目よりいい内容でした。2回目が終わり、保護者代表で来ていただいた方(発表者)に紹介いただいた本を早速読み大変参考になっています。原田先生のお話は分かりやすく、もう少し聴きたかったです。

◇本日の講演はとても分かりやすく参考になりました。私は現在保健師として働いていますが、引きこもりの2次障害で精神疾患を発症した方のケースに関わることがあります。社会復帰や病院受診に苦慮しており、やはり若年(早い段階)での介入がとても必要と感じています。本日の講演を参考に業務に生かしていきたいです。

◇工事中なので仕方ないと思うが、やはり駐車場ぐらいは確保してもらいたい。

## 7. 今後に向けての要望(テーマなど)

◇ネグレクト、虐待等

◇学校卒業後の就労、就労準備支援についてのサポートが知りたいです。(18歳以上に)専門的なサポート(臨床心理士)、行政的なサポート(フリースクール NPO)、連携の実践!!

◇教員の方の悩み講座も必要だと本日の参加者を思いました。人権と言いつつ”啓蒙”と使われるなど

◇本日のテーマをさらに学習し、私たちが支援できる方法を学びたい。

◇不登校解消事例等を用いて社会、学校への復帰、治療方法を探ってみたいです。

◇発達障害の子ども達への支援について

◇80、50問題をテーマとした内容

◇ありません

## 8. 勤務先または住まいの地域

①田川市内(7人) ②田川郡内(2人:川崎町、郡内)

③その他(29人:飯塚市;4人、嘉麻市;3人、宗像市;3人、久留米市;2人、八女市;2人、粕屋町;2人、北九州市、福岡市、うきは市、直方市、古賀市、春日市、那珂川市、糟屋郡、志免町)

※参加者の方の生の声を大切にするために、匿名性には配慮し一部表現を変更しておりますが、記載されたそのままを掲載させていただいておりますことをご了承ください。